

柘植地域
まちづくりだより
 第174号

発行 柘植地域まちづくり協議会事務局
(柘植地区市民センター内)

伊賀市柘植町一〇六四七番地

〒五一九一四〇二
 電話 四五・八八八〇

発行日 二〇一六(平成二十八年)九月十五日(木)



恒例!
駅前案内板の修繕と
横地野道路の保全作業

産業交流部会



8月27日(土)午前、「柘植駅周辺と地元産業の育成事業」の一環として、柘植駅前の案内地図大看板の修復作業と、東海自然歩道(余野く横地野線)道路補修工事を実施しました。

これまでの例では、道路にわだちができ、車の底がすれるような箇所がありました。今年雨は少なかったせいか道路の痛みも少なく、道路修復工事は無事終了しました。5年前からコンボを使って道路を修復していますが、人力での作業ではできない効果があります。



秋の行楽シーズンを迎え、柘植地域にはJRを使ってハイキングや登山客が多く訪れます。ウォーキングを楽しむ機会があれば、工事の出来栄をぜひご覧ください。

「これからの市政を考える集い」開かれる



8月23日夜、いがまち公民館で伊賀市の将来について住民と市行政が意見交換する「これからの市政を考える集い」が「財政と経営、第2次再生計画策定を前に」をテーマに開かれました。急な案内であったため、まちづくり協議会として住民の皆さんに十分な周知ができませんでしたが、約10名が柘植地域から参加しました。

市当局から今後の財政の見通しや公共施設の維持管理、第2次総合計画について説明があり、その後、参加者との市長との懇談が9時半過ぎまで続きました。

特集 柘植地域の公共施設

その2 柘植保育園

現在の柘植保育園は、今年4月に旧柘植保育園（延床面積721㎡）と旧柘植第二保育園（同面積929㎡）が統合して開園しました。現在0歳児から5歳児までの77名の子どもたちが元気に過ごしています。



笑顔いっぱい
元気もいもい

今年の夏も連日厳しい暑さが続きましたが、そんな中、子どもたちは大好きなプール遊びを存分に楽しみました。乳児クラスのプールからは、かわいい歓声が聞こえ、幼児クラスのプールでは、たくさん水のしぶきをあげ自分なりに目標をもってできないことに挑戦しようとする姿がありました。

夏のあそびをいっぱい経験することのできた「やってみよう」という挑戦する気持ちや「できた！」という達成感を運動会へ



勇気100%



職員一同、子どもたちが自然豊かな柘植で人々のあたたかいぬくもりを感じながら、元気に成長してほしいと願っています。

の取組みなど、これからの活動につなげていきたいと思っています。

さて、元気に遊ぶ子どもたちですが、年々体力や運動能力の低下が問題視され、そのことがいろいろな活動への意欲・気力の減少や対人関係におけるコミュニケーション能力にも影響を及ぼしているという状況をうけて伊賀市でも昨年度から「からだ育て事業」に取組むことになりました。

柘植保育園でも幼児組の子どもたちは、「にんにんタイム」を設け、「忍者走りの術」「投げるの術」「ハイハイの術」「変身の術」などで毎日楽しくからだを動かしています。

涼しい鳴き声リーンリーン！

～柘植保育園年長児にスズムシを贈呈

余野公園保勝会

下柘植の森木美智子さんが羽化させたスズムシ約3000匹を余野公園保勝会のメンバーが7月中旬から8月中旬までの約1か月の間、飼育し成虫まで育てました。8月22日（月）に恒例のスズムシを柘植保育園の年長児に贈呈しました。



保育園送迎等の安全向上に…

交差点の出入口が拡幅される！

8月中旬に拡幅工事がなされ、車で国道に出る際の視界の広がりとともに、進入車との対向がしやすくなりました。送迎や生活に役立つことでしょう。

その3 柘植中学校

柘植中学校(延床面積5597㎡)は、現在、各学年1学級ずつで全校59名の生徒が登校しています。

教室には空調設備が整っており、快適な環境で学習できます。

また体育館については、学校の教育活動以外に、社会に対して一般開放がされており、スポーツなどに活用していただいています。

さて、生徒たちの活動として、柘植地域でお世話になっている大きな行事の一つに『つげまち一日職業体験学習』があります。以下、今年の例を紹介させていただきます。

7月6日に1年生は「つげまち一日職業体験学習」を行いました。実際の職業体験とともに、地元を愛し誇りを持って仕事を続けてみえる方々に出会わせたいと考えました。趣旨を理解していただきながらも、日程がうまく合わずに実現で



きなかった事業所さんもありましたが、子どもたちの進路学習として意義深い内容となりました。次にあるような子どもたちの感じたことを大事にしながら、学校生活をさらに充実させていきたいと思えます。素敵な体験をさせていただきありがとうございます。

○「自分の思ったことやしたいことは失敗をおそれないこと」という言葉をいただきました。これからは失敗をおそれずどんどんチャレンジしていきたいです。

○地域の支えがないと、この店は成り立たなかったと言っていました。地域の支え合いを大切にしようと思えます。



その4 人権センター

いがまち人権センター(延床面積1503㎡)は、隣保館・児童館・青少年活動センター等を含めた総称です。

同和問題の速やかな解決を目的とした施設で、地域住民の教育文化の向上のため、各種教室の開催をはじめ、お年寄りの健康増進と生きがい対策及び子どもた

ちが遊んだり学習しながら課題解決を図る場として活用されています。また、人権教育・啓発の取り組みの拠点施設として、解放講座や識字学級をホールや生活訓練室などを活用して開催しています。

人権センターの取組みの一つとして識字学級は、差別によって「文字」を学ぶ機会を失った人に、文字を取り戻す活動をしています。この取り組みは1990年7月から「しらさぎ識字学級」として開設しています。

本年度の解放講座は「しらさぎ識字学級25周年を迎えて、これまでの識字学級の意義と必要性を見つめ直す」をテーマに開催しています。



いがぶら・つげぶら

まち協も 応援しています

昨年『まちづくりだより』でお知らせした「いがぶら」ですが、今年も伊賀市全域で実施されることとなりました。



柘植地域からは5つの個人や団体が参加しています(左の表参照)。「いがぶら」のパクリですが、「つげぶら」と銘打ち、まちづくり協議会として応援をしています。

こうした機会をきっかけに、柘植地域の住民が柘植地域の魅力の一端を体験し学ぶことが地域活性化の原動力になるの

開催日	つげぶらメニュー
10/10	斎王群行と巡る柘植ウォーク
10/27 11/5	山峡の窯元がおくどさんと 囲炉裏でおもてなし
10/1 他3回	苔玉から始める山野草作り
10/26 10/30	余野の森で森林浴 ウォーキングとカフェタイム
10/4	野菜コーデの ナチュラル・パーティランチ

『いがぶら公式ガイドブック』より引用

行政サービス車 **ダイヤ改定** …停留所名も変更…



「柘植保育園前」が「柘植小学校東」に
～10月より～

現在、柘植地域を平日5回、運行している行政サービス車ですが、このたび平成25年以来、約3年ぶりにダイヤが改定されることになりました。

小杉区児童が雨天時等に行政バスをよく利用しておりますが、これまで低学年児童の下校時刻に合ったバスの運行がなく通学に不便でした。また近年は、下校時に不審な車やサル・イノシシなどに出くわす事例もあり、時刻の調整あるいはスクールバスの配備ができないかという要望がありました。

その結果、小杉区の区長さん、地区委員さん、民生委員さんや小学校、まちづくり協議会などが市と話し合いを進めたところ、他コースの事案とも重ねて、ダイヤ改定をしていただくことになった次第です。

詳しくは、市から9月15日に配布の新しい「いがまち行政サービス巡回車時刻表」をご覧ください。

市民センターに置いてあります。



ではないでしょうか？(別紙資料を組回覧しましたのでご覧ください。)
なお、申込みは「いがぶら公式WEBサイト」の手順にしたがってお願いします。詳しくは『いがぶら2016公式ガイドブック』をご覧ください。

●事務局だより●

▼現行『まちづくり計画』の評価概要版(モノクロ版)を各戸に配付いたしました。カラー版については、各組等の回覧でお届けします。▼現在、伊賀市8の自治協議会を対象に、大規模な研修会が開催されています。内容は国勢調査の結果等を活用した「人口予測」と「行事の棚卸し」といった資料をもとにした将来展望づくりです。▼1面下段の「これからの市政を考える集い」なども関連しますが、「人間の高齢化」による健康福祉面での事業の必要性、道や橋、建造物など「インフラの高齢化」による修繕費用の増大などから、将来の市政のあり方に目を向けるようにと、行政からは再三再四データとともに市民に訴えられているところとです。▼一方で、市民の側はどうかということ、毎日の生活に追われ、市政や住民自治について、考える余裕がないのが大半の実態ではないでしょうか。▼これから柘植地域を総括したデータをもちに、新『まちづくり計画』の策定に取り組むわけですが、各区においても、日に日に進む課題の多い実態に目を向けていただけるよう事務局としては取組んでいますので、柘植地域、各区各組、各家庭などの将来に思いを巡らせてみてください。(西田方計)